

## 卒業生の就業先調査 結果

### 調査対象者

令和4年度の本学介護福祉学科卒業生を採用した法人及び施設等の施設長、人事課長（15施設・事業所）

### 調査期間

令和5年12月から令和6年1月

### 調査票回収数・回収率

回収数 12通（施設・事業所）

回収率 80.0%

※1通がすべて未記載であったため、11通分を分析対象とした。

### 1. 施設・事業所の属性

施設・事業所の種別は、特別養護老人ホームが6件（55%）で最も多く、次いで、高齢者ショートステイ4件（36%）、介護老人保健施設、高齢者デイサービス・デイケア、その他（居宅介護支援事業所など）が各3件（27%）と続いた。（複数回答）

施設・事業所の運営主体は、社会福祉法人が最も多く6件（55%）、次いで日本赤十字社2件（18%）、医療法人、株式会社・有限会社、その他各1件（9%）であった。

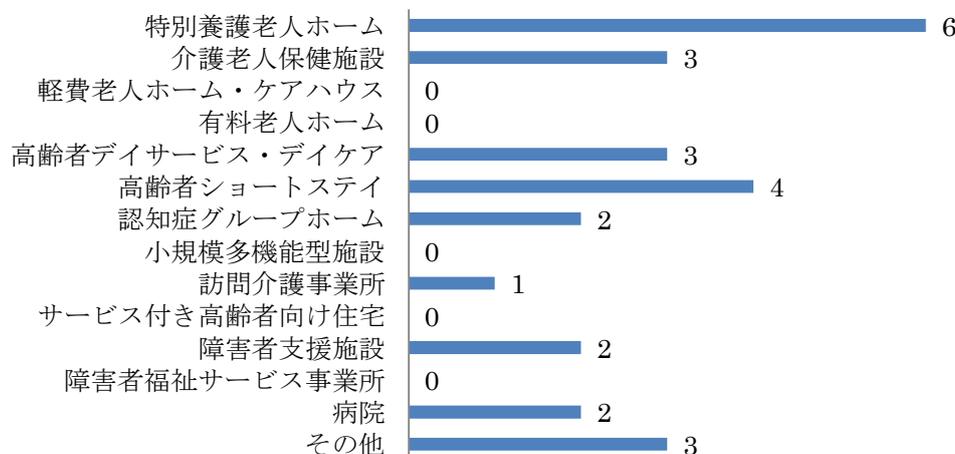


図1. 施設・事業所の種別（複数回答）

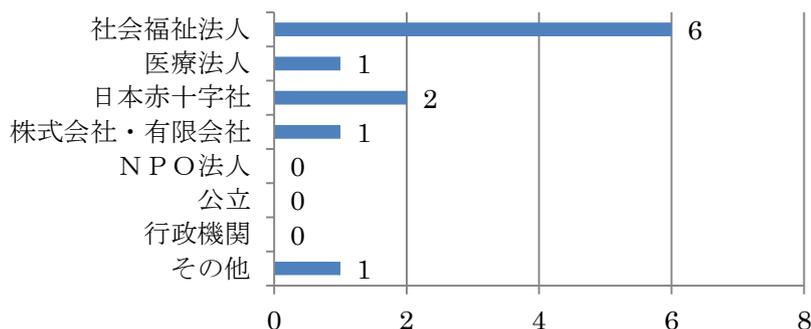


図2. 運営主体（n=11）

## 2. 卒業生の雇用状況

令和5年12月現在で勤務している本学卒業生の職種について回答を得た。

職種	男性	女性	計
ケアワーカー（介護職）	2	7	9
ソーシャルワーカー（相談職）	1	0	1
その他（介護支援専門員）	1	0	1
その他（作業員）	1	0	1
計	5	7	12

## 3. 採用理由（複数回答）

本学卒業生を採用した理由として最も多くあげられたものは「将来性が期待できる」10件（91%）であった。次いで、「介護福祉士の資格を取得している」8件（73%）、「基礎学力がある」7件（64%）、「赤十字の精神を身につけている」「人間的に魅力を感じる」「コミュニケーション力がある」「本学卒業生の実力は評価できる」「本学卒業生は定着率が高い」各4件（36%）であった。

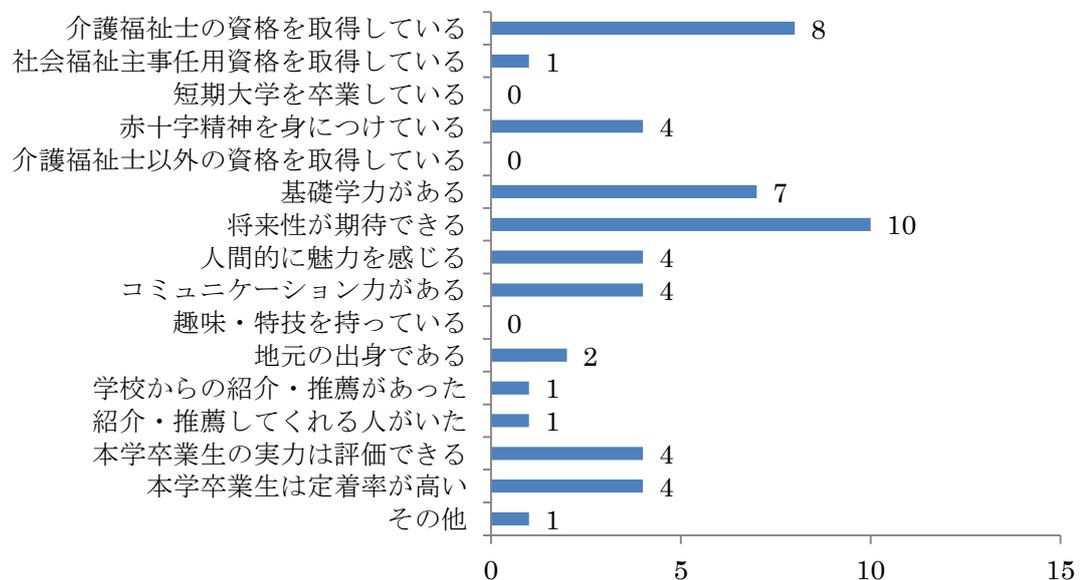


図3. 本学卒業生を採用した理由（複数回答）

## 4. 今後の採用意向

「今後も本学卒業生を採用したいと思うか」という質問に対し、「そう思う」が10件（91%）、「ややそう思う」が1件（9%）であった。

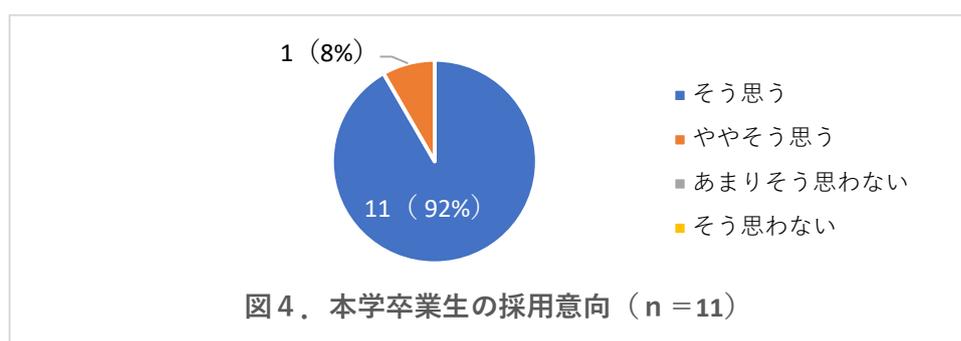
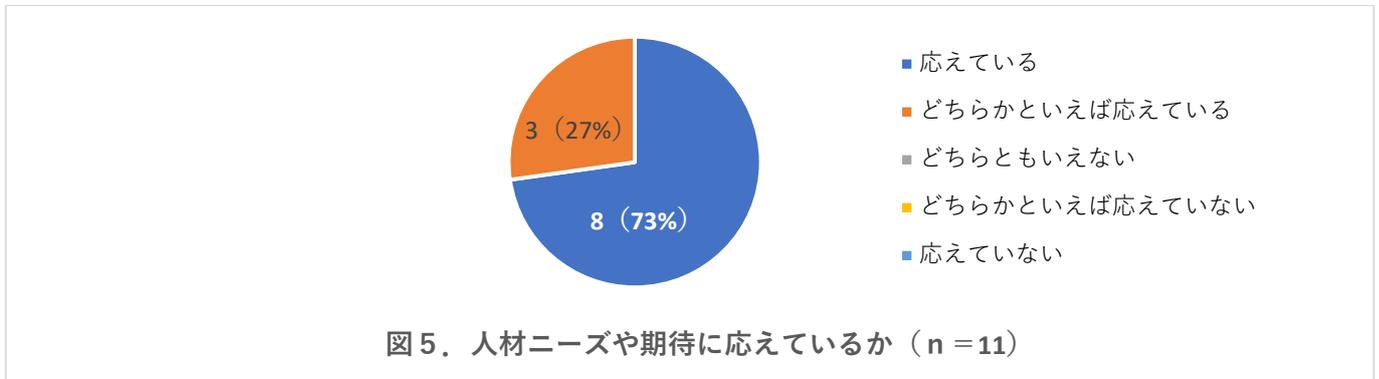


図4. 本学卒業生の採用意向（n = 11）

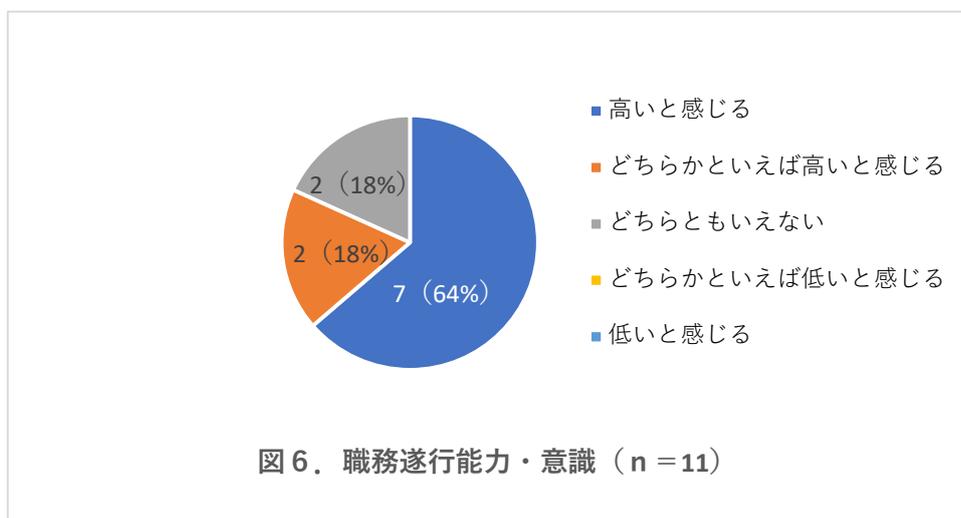
## 5. 卒業生のへの評価

「本学卒業生が施設・事業所が求める人材ニーズや期待に応えているか」という質問に対し、「応えている」が8件(73%)、「どちらかといえば応えている」が3件(27%)であった。



## 6. 職務遂行能力

本学卒業生の職務を遂行する能力や意識の水準については、「高いと感じる」7件(64%)、「どちらかといえば高いと感じる」2件(18%)、「どちらともいえない」2件(18%)であった。



## 7. 卒業生が身に付けている能力

本学卒業生が、図7に示した能力等(16項目)を身につけているかどうかについて、「(身につけていると思う)」から「(身につけていると思う)しない」までの5件法で回答を求めた。

「思う」が最も多かった項目は「身だしなみや言葉遣いなどの社会常識」と「基礎的知識や基礎学力」各8件(73%)であった。次いで「自己の体調管理に努めている」7件(64%)、「専門的知識・技術」と「仕事上の課題等に積極的に取り組む姿勢」が各5件(45%)であった。

「思う」「やや思う」を合わせて100%になった項目が「身だしなみや言葉遣いなどの社会常識」「基礎的知識や基礎能力」「人の痛みや苦しみに共感できる感性」「人間の尊厳を守ろうとする倫理観」「相手を尊重した責任ある更衣」「協調性、コミュニケーション能力」「チームワークや健全な人間関係を築く力」であった。

「どちらともいえない」が多かった項目は「リーダーシップ、指導力」7件(64%)、「調査、分析、報告の能力」3件(27%)であった。

どの項目においても「思わない」との回答はなかったが、「あまり思わない」との回答があった項目は「自己の体調関係に努めている」「専門的知識・技術」「ITの知識やスキル」各1件であった。

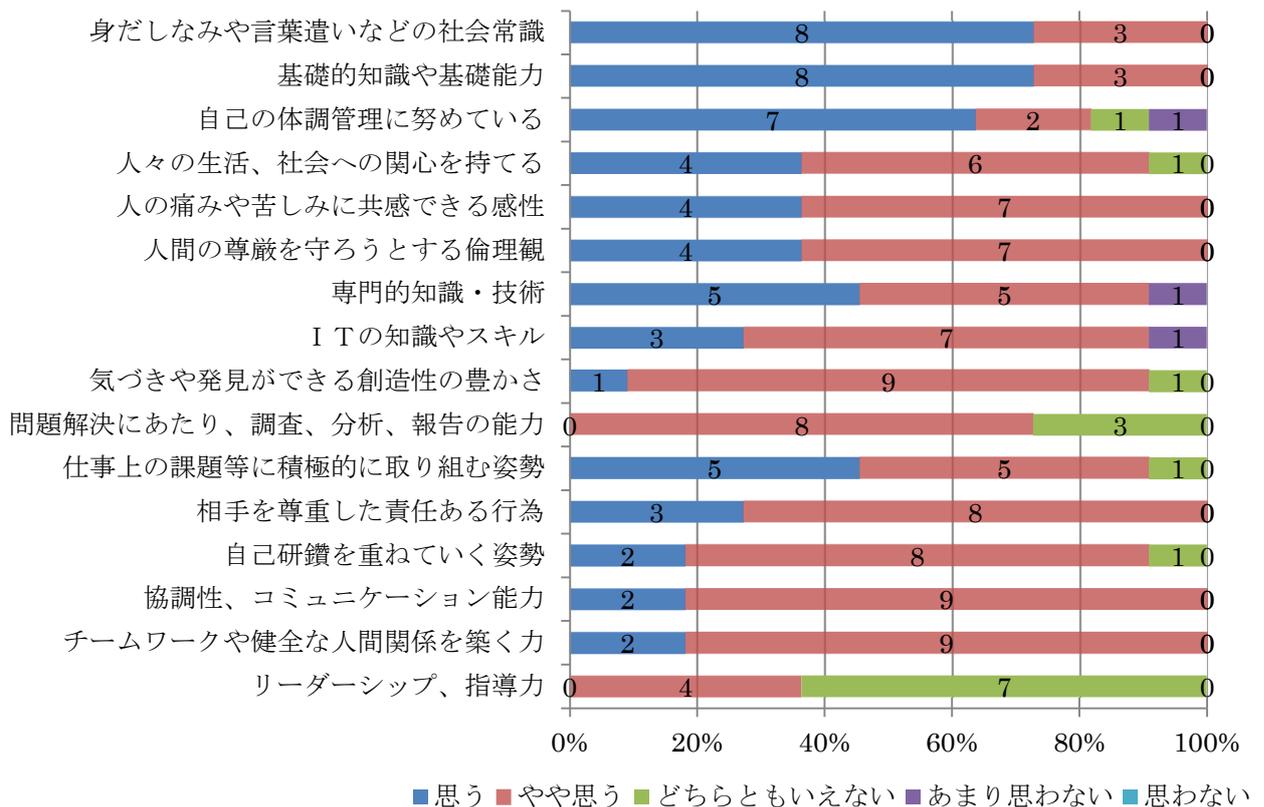


図7. 本学卒業生が身につけていると思う能力 (n=11)

## 8. 施設・事業所における重要視の度合い

前述の16項目の能力等を各施設・事業所がどの程度重要視しているのかについて、「重視している」から「重視していない」までの5件法で回答を求めた。

「重視している」が最も多い項目は「人の痛みや苦しみに共感できる感性」、「相手を尊重した責任ある行為」各8件（73%）、次いで「人間の尊厳を守ろうとする倫理観」「協調性、コミュニケーション能力」各7件（64%）、「身だしなみや言葉遣いなどの社会常識」「気づきや発見ができる創造性の豊かさ」「チームワークや健全な人間関係を築く力」各6件（55%）であった。

「重視している」と「やや重視している」とを合わせた回答が70%以上であった項目がほとんどだったが、比較的低かった項目は例年同様に「ITの知識やスキル」と「リーダーシップ、指導力」であった。

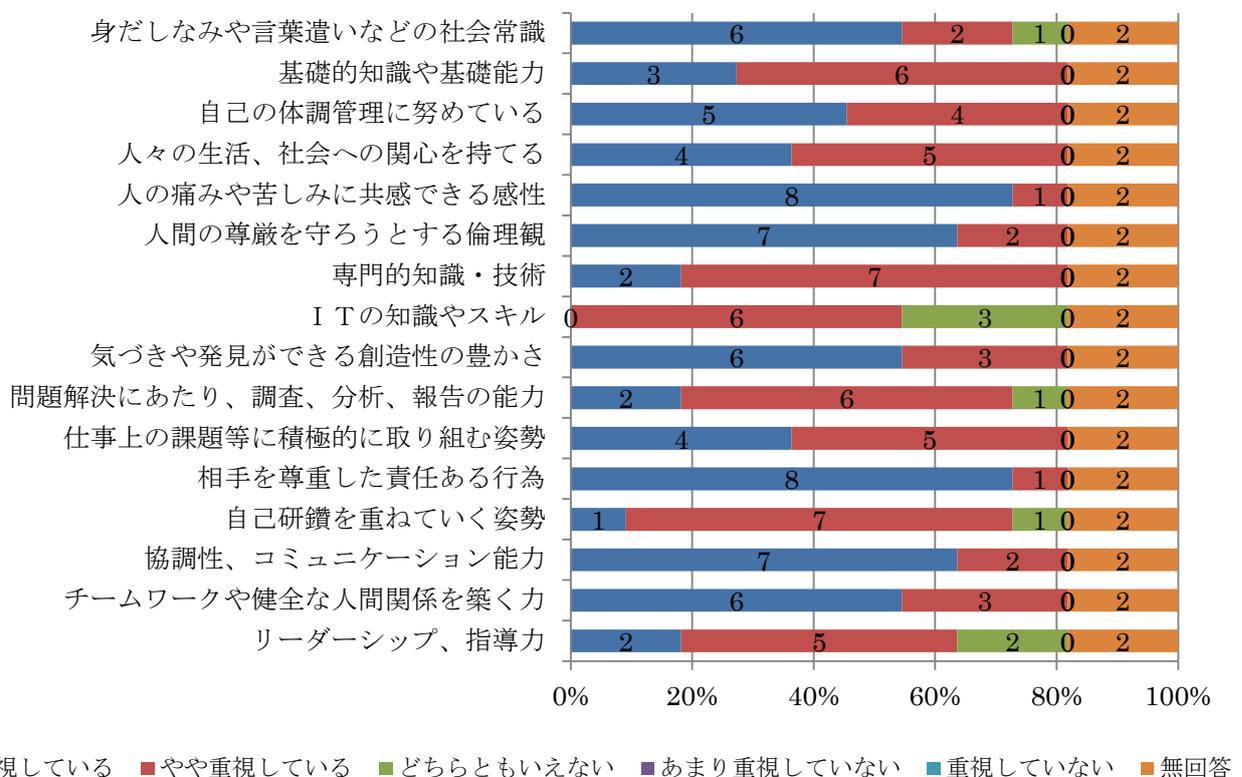
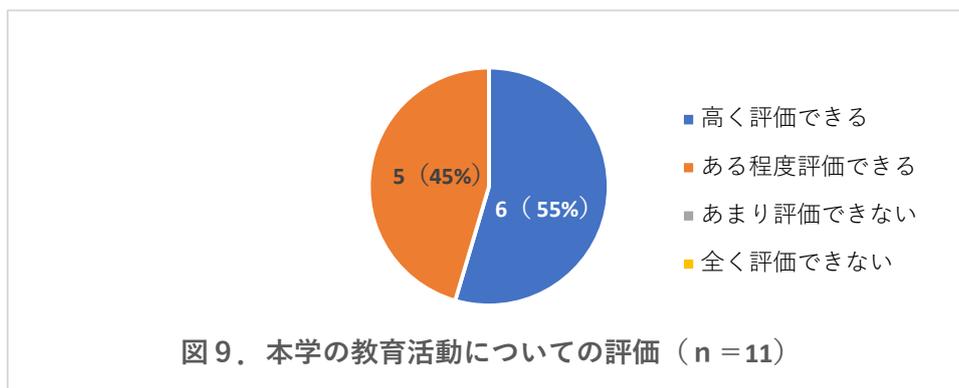


図8. 施設・事業所における重要度（n=11）

## 9. 本学の教育活動について

本学の教育活動についてどのように感じるかについて回答を求めたところ、「高く評価できる」6件(55%)、「ある程度評価できる」5件(45%)であった。(図9)



上記のように感じる理由について自由記述にて尋ねたところ、「高く評価できる」では6件中の4件から、「ある程度評価できる」では5件中3件から回答があった。

### 1) 「高く評価できる」理由

・アセスメント力があり、アセスメントを含めた報告ができる。コミュニケーション力が高い。
・コミュニケーションが出来る事。コミュニケーションが出来ていれば何の問題も解決出来ると感じる。
・介護の知識や技術に関しては、学年や実習の段階に合わせたスキルを持ち合わせており、得た知識や技術を学校に持ち帰り、しっかりと振り返りをされて、自身のスキルとされており、しっかりとしたサイクルが作られている。また、社会一般とした対応も身につけられている。
・令和5年度介護福祉士実習指導者講習会に参加させて頂きました。学生ひとりひとりの特性を理解し、教育指導にあたっていることを先生方のお話を通し感じました。また、現在当園で頑張っている卒業生の日頃からの姿を通して感じられます。

### 2) 「ある程度評価できる」理由

・学生一人一人がきちんと目標を持って実習に臨んでいると感じます。ただ一日を終えるのではなく、「今日はこれについて学びたい」と自ら実習担当に伝えることが出来る学生が多くいて意欲を感じます。
・施設が求める知識・技術、意識に対して、水準を上回る学生を輩出されていること。
・遠方の学校であり、交流も少ないため、貴校がどのような活動を行っておられるか存じあげず、特に記載する内容はありませんが、今年度採用させて頂いた職員については、しっかり学習されてきたという印象を受けています。

## 10. 本学への期待

本学への期待について、13項目を設定し、その中から「期待する」項目について複数回答にて回答を得た。さらに、「期待する」項目の中でも「最も期待する」項目について1つ回答を求めた。

本学へ期待することとして最も多く挙げられた項目が「コミュニケーション能力を高める教育の充実」、「常識、マナーを身につけるための教育の充実」が各10件（91%）であった。次いで「専門性を高める教育の充実」8件（73%）、「基礎学力を高める教育の充実」、「実習指導における介護現場との連携強化」各7件（64%）と続いた。（図10）

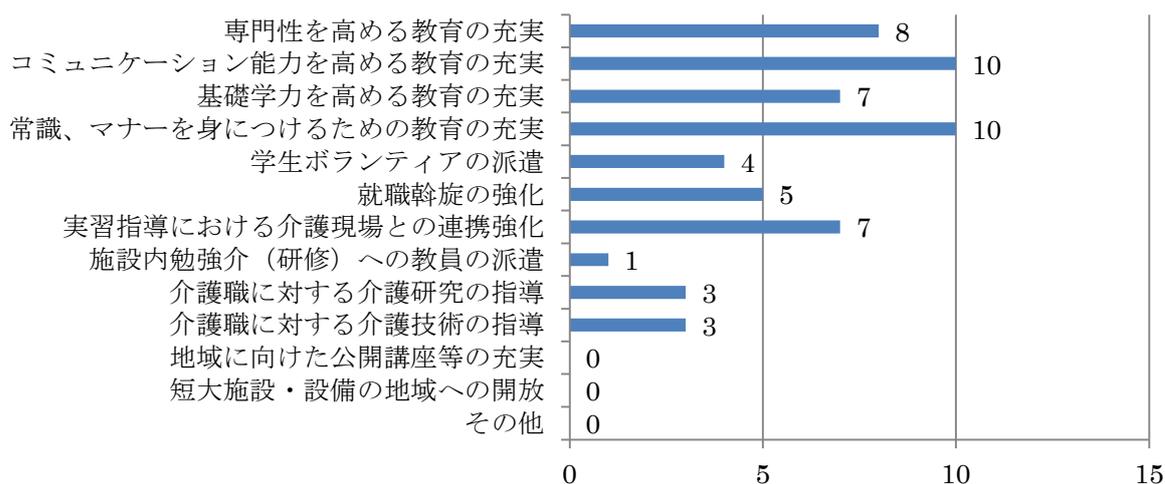


図10. 本学に期待すること（複数回答）

また、「期待する」とした項目の中で「最も期待すること」を1つ選んでもらったところ、「常識、マナーを身につけるための教育の充実」が最も多く3件（27%）、次いで「専門性を高める教育の充実」「コミュニケーション能力を高める教育の充実」各2件（18%）、「実習指導における介護現場との連携強化」が1件（9%）、無回答3件（27%）であった。（図11）

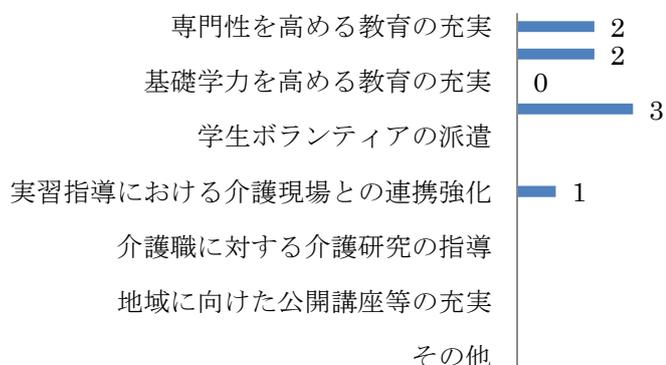


図11. 本学に最も期待すること

## 1 1. 本学への意見・要望

本学への意見・要望について自由記述による回答を求めたところ、3件の回答があった。

・看護師と共に入職のオリエンテーションを受け、介護福祉士、看護助手と共に勤務をしております。基礎学力、介護知識が身につけており、高く評価しております。引き続き、貴学の卒業生が当院で活躍して頂きたいと思っています。

・介護現場では若い福祉を目指す方が不足しており、そのような現状の中で、日赤の存在はとても大切である。福祉を目指そうとする若い力がもっとも増えてくれればと思っています。そのためにもぜひ頑張ってもらえればと期待しています。

・可能な範囲でいいので、生徒の事前情報(ここが心配、等)を教えてください助かります。

以上